

研 究 会 開 催 通 知

(昭和 56 年 10 月 15 日～11 月 30 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
電 子 装 置 設 計 技 術	10月20日(火)	14: 00～17: 00	機械振興会館	前号参照
日 本 文 入 力 方 式	10月21日(水)	13: 30～17: 00	同 上	同 上
計 算 機 アーキテクチャ	10月29日(木) 10月30日(金)	13: 30～17: 00 8: 30～12: 00	東 北 大	同 上
データベース管理システム	11月 5 日(木)	13: 30～17: 00	第 32 森ビル	下記参照
分 散 処 理 シ ス テ ム	11月13日(金)	9: 00～17: 00	東 北 大	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	11月16日(月)	13: 30～17: 00	機械振興会館	同 上
コ ン プ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	11月19日(木)	13: 30～17: 30	工技院筑波研究センター	同 上
自 然 言 語 処 理	11月20日(金)	10: 00～16: 00	武蔵野通研	同 上
人 工 知 能 と 対 話 技 法	11月26日(木)	13: 30～17: 00	京 大	同 上

◆ 第 27 回 データベース管理システム研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 酒井博敬, 代表幹事: 有澤 博, 吉田郁三)

日 時 昭和 56 年 11 月 5 日 (木) 午後 1 時半～5 時

会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第二会議室

〔東京都港区芝公園 3-4, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 等々力—東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, 機械振興会館並び浜松町寄り徒歩 1 分, 東京タワー向い. Tel. 03 (591) 1351 (大代表)〕

議 題 (1) 分散データベースシステムにおける通信と処理のモデル

田畑孝一 (京大・情報処理教育センター)

〔概要〕 分散データベースシステムあるいはデータベースマシンにおける通信と処理の過程をレイヤ構造によってモデル化する.

(2) Dependency Reconsidered

田中 譲 (北大・工)

〔概要〕 データベース理論は現実的でないとの批判に対し, これらが Dependency の誤った解釈に起因することを指摘し, Dependency 理論, スキーマ設計理論を現実的に再構成する.

(3) データベースにおける Directory の細かさとの関係

松下 温, 吉田 誠 (沖電気)

〔概要〕 Directory の分割数とその更新頻度の関係, Directory の分割数と対象 PAU (Physical Access Unit) 数の関係をシミュレーションより求め, Concurrency 度を定義すると共に, Concurrency 度と Directory の細かさについての検討を行う.

(4) JAM: 日本語質問文によるデータベース検索システム

日吉茂樹，村木一至（日電）

〔概要〕 日本語質問文によるデータベース検索システム（JAM）を実験的に開発した。利用者との会話における文脈情報をもとに完全な問合せを生成する文脈管理機能，動的結合演算を含む検索やあいまい情報検索等のデータベース問合せ機能を中心に報告する。

◆ 第11回 分散処理システム研究会

（発表件数：10件）

（主査：戸田 巖，代表幹事：田中英彦，村上國男）

日 時 昭和56年11月13日（金）午前9時～午後5時
会 場 東北大学電気通信研究所 2号館2階会議室
〔仙台市片平 2-1-1, 国鉄：仙台駅下車 徒歩15分 Tel. 0222 (27) 6200 内線 2834〕

- 議 題 (1) 分散情報システムの運営と管理 佐伯武雄（日本アイ・ビー・エム）
〔概要〕 分散情報システムの導入検討において，その運営と管理の重要性を強調し，その検討要点，必要な管理機能を明確化する。また，当観点におけるメーカーの設計思想及び現実の対処状況を具体的な 8100 システムにあてはめて解説する。
- (2) 企業内分散処理における運用管理技法についての一考察
三浦孝夫，兼本 浩（三井造船）
〔概要〕 企業内の分散処理を実現していくときの運用管理上の問題点を整理し，この対応として開発された MUSIC システムの概要を述べる。
- (3) 分散ネットワークの生成，再構成方式に関する一考察
河岡 司，高橋祥兼，岡本龍明（横須賀通研）
〔概要〕 分散ネットワークの創設時の初期設定，及び運用中における計算機，端末；アプリケーションプログラム等の追加のための再構成を，ネットワーク全体の運転を止めることなくオンラインで実現するためのネットワーク管理プロトコルを DCNA（データ通信網アーキテクチャ）に基づいて考察している。
- (4) 分散システムにおけるプロセス間通信のリカバリ方式
鶴岡邦敏，金子朝男，西原義之（日電）
〔概要〕 チェック・ポイントの特性を分類・評価し，次に，リカバリラインの検出・制御を動的に行うリカバリ方式を提案する。
- (5) インハウス・ネットワークにおけるエレクトロニック・メール・システム（ELMS）について 鈴木健二，浦野義頼，小野欽司（KDD 研究所）
渡辺久雄（日本通信協力）
〔概要〕 インハウス・ネットワークにおけるホスト計算機の TSS アプリケーション・プログラムとして，エレクトロニック・メール・システム（ELMS）を作成したので，その概要と問題点について報告する。
- (6) 地震予知研究のための観測情報ネットワークシステムの構成
安永尚志，宇佐美龍夫（東大・地震研）
〔概要〕 第4次地震予知研究計画の一つとして，微小地震に関する全国的広域観測網が整備しつつある。本報告では，このシステムの特長・機能・実現仕

様並びに若干の実験結果についてのべる。

(7) 分散形データベースのアーキテクチャ

清水信昭, 柴崎泰三, 大沼幸平 (横須賀通研)

〔概要〕 分散 DB の DCNA プロトコル設定において DB 分散配置技術 (新方式) を包含したアーキテクチャを報告する。

(8) かな漢字変換の機能レベルと適合システム

戸井田徹, 木村久正 (横須賀通研)

〔概要〕 各種システム, 装置に導入した 1D10M 形かな漢字変換技術を示し, かな漢字変換の機能レベルと技術的課題およびシステムに導入する際の考え方を述べる。

(9) 分散データベースにおけるデッドロック回避方式による Concurrency Control の比較評価

松下 温, 吉田 誠, 脇野 淳 (沖電気)

〔概要〕 本研究では, 複数のコピーが存在するような分散データベースシステムにおける Consistency の維持とデッドロックの問題をデッドロック回避方式の 3 モデルを設定し, 比較, 検討を行う。

(10) DDX パケット交換網における同期ベーシック端末の収容方式

杉田伸博, 塚本克治, 伊藤 剛, 千田昇一 (武蔵野通研)

〔概要〕 各種の端末手順を持つ同期ベーシック端末を広範囲にパケット網に収容するため, パラメータにより端末属性を吸収する方式を開発した。端末手順と X25 手順との変換プロトコル及び, 本プロトコルを採用した場合の, 変換効率, 網遅延等の網品質に関する評価についても論ずる。

◆ 第 21 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 木村 泉, 代表幹事: 久保未沙, 花田収悦, 原田賢一)

日 時 昭和 56 年 11 月 16 日 (月) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷一東京タワー線東京タワー, 等々力一東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) 1981 年電子計算機国際会議秋季大会 (COMPCON FALL '81) 報告

佐藤匡正 (横須賀通研)

〔概要〕 1981 年 9 月に開催される COMPCON FALL '81 は Productivity を主テーマのひとつとして採りあげられており, その参加報告である。

(2) ポインタ変数に関するプログラム誤りの検出について

岡 知範, 永瀬淳夫, 山口和幸, 伊集院正 (横須賀通研)

〔概要〕 ポインタ変数に関するエラーのうち, null 値参照エラー, danling 参照エラー, inaccessible エラーについてフロー解析技術を用いて翻訳時に検出する方法について述べる。

(3) A Note on the Estimation in a Software Failure Process

山田 茂 (広大・工)

〔概要〕 ソフトウェアのテストにおけるバグの発見を確率過程と考えたときの, 中小規模ソフトウェアにおけるバグの発見モデルを提示し, 現実のソフト

ウェア開発時のデータと照合検討した結果を示す。

(4) プログラムテストの妥当性評価に関する実験報告

大場 充 (日本アイ・ビー・エム)

〔概要〕 人工的に作ったバグをテスト (デバッグ) 対象プログラムに移植して
おき、テスト後移植されたバグがどの程度スクリーニングされたかでテスト
妥当性を評価するという方法に関する実験結果を報告する。

◆ 第15回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 福村晃夫, 代表幹事: 高木幹雄, 鳥脇純一郎, 田村秀行)

日 時 昭和56年11月19日(木) 午後1時半~5時半

会 場 工業技術院筑波研究センター・共用講堂多目的会議室

〔茨城県筑波郡谷田部町東 1-1-4, 国鉄: 常磐線荒川沖下車 (上野発 11:33 (普
通)一荒川冲着 12:29), バス: 関東鉄道バス筑波大中央行, 並木2丁目下車(駅
前発 13:10-13:20着), 徒歩約5分, Tel. 0298 (54) 2111〕

議 題 (1) ガウス写像を用いた3次元物体認識の一手法 池内克史 (電総研)

〔概要〕 3次元物体画像の $2^{1/2}$ 表現をガウス写像を用いて変換することにより法
線の密度分布が得られる。これをあらかじめ計算機内に貯えたモデルと照
合することにより物体の形状を解釈する一手法を提案する。

(2) アルゴリズム・データベースに基づく画像処理用言語 HILLS について

鈴木秀智, 鳥脇純一郎 (豊橋技科大)

〔概要〕 画像処理用パッケージ SLIP 及び SPIDER を利用しやすくするために
開発された言語 HILLS の仕様と実現について報告する。

(3) 第7回人工知能国際会議の Vision 部門 大島正毅 (電総研)

〔概要〕 去る8月24~28日にカナダのバンクーバーで開催された IJCAI-81 の
うち、コンピュータビジョン関連の発表について、その概要と研究動向を
紹介する。

(4) RIPS の画像処理システム 矢田光治, 田村秀行 (電総研)

上原勝徳, 藤野誠治 (富士通)

〔概要〕 工技院情報計算センターの RIPS 画像ステーションにおいて、一般ユー
ザ向に開発された画像処理システムの構成と利用形態を紹介する。

(5) 工技院 RIPS センタの見学

◆ 第28回 自然言語処理研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 長尾 真, 代表幹事: 田中穂積, 野村浩郷, 辻井潤一)

日 時 昭和56年11月20日(金) 午前10時~午後4時

会 場 電電公社武蔵野電気通信研究所 6号館 202B

〔武蔵野市緑町 3-9-11, 国鉄中央線三鷹駅北口下車, 関東バス (1番乗場): 北
裏行 (便多数) 武蔵野市役所前下車徒歩5分, Tel. 0422-59-3326〕

議 題 (1) 英日翻訳における英文解析の照応関係処理

小倉健太郎, 飯田 仁, 野村浩郷 (武蔵野通研)

〔概要〕 英日機械翻訳の英文解析における代名詞を中心とする照応関係の処理
を、文章分析の結果に照らして述べる。

(2) Some Basic Issues of Terminologies—INFOTERM and TERMNET—

G. Galinski, INFOTERM (Wien)

(3) 拡張 LINGOL 上での英日翻訳のための一考察

橋本和夫, 榊 博史 (KDD 研究所)

山城健司 (日本電子開発)

〔概要〕 拡張 LINGOL 上で英日翻訳を試みる際に必要となる形態素処理手順と問題点について報告する。

(4) 英和機械翻訳のための構文解析技法

新田義彦, 岡島 惇, 山野文行 (日立)

〔概要〕 英文和訳のための構文解析技法の概要を, 実験結果ならびに実用化のための課題とともに述べる。

(5) ダイナミックプログラミングの手法を用いた漢字かな混り文のかなふりと分ち書き

藤崎哲之助 (日本アイ・ビー・エム)

〔概要〕 漢字かな混り文のかなふり, 分ち書きの問題を, 通信路における雑音の除去と見立て, ダイナミックプログラミングで解く方式を行った。その方式結果について報告する。

(6) テキサス大学における機械翻訳

首藤公昭 (福岡大・工)

◆ 第 23 回 人工知能と対話技法研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 田中幸吉, 代表幹事: 白井良明, 小川 均)

日 時 昭和 56 年 11 月 26 日 (木) 午後 1 時半～5 時

会 場 京都大学工学部情報工学科 第 1 会議室

〔京都市左京区吉田本町, 京都駅より市バス ⑤ 百万遍下車徒歩 5 分, Tel. 075 (751) 2111〕

議 題 (1) 書き換え規則の適用順序を学習するパーザーについて

長尾 真, 中村順一 (京大・工)

〔概要〕 書き換え規則の適用順序を学習により変更することで, より良い解析結果を先に出し, 解析効率を上げるメカニズムについて述べる。

(2) モンテギュー文法に基づく英文和訳システムについて

西田豊明, 堂下修司 (京大・工)

〔概要〕 モンテギュー文法を応用して英日機械翻訳を行うシステムについて報告する。この方法の原理と利点を示し, また解析規則を経験的に改良してゆくための対話機能についても議論する。

(3) 2次元データ入力のためのオンライン手書文字認識

佐伯元司, 松下武史 (東工大・工)

〔概要〕 本報告は数式や図面などの 2 次元データを計算機に入力するための手書き文字認識の一手法について述べる。ここでは安価で独立性の高い認識システムを作り上げるためマイクロコンピュータを用いた。また幾何学的な特徴を使ってストロークを分類し, ストロークの出現パターンによってシンボルの自動分離を行っている。

◆ 人工知能と対話技法研究会

第 4 回研究会を来年 1 月 28 日, 福岡にて開催の予定です。講演ご希望の方は 11 月 1 日までに事務局研究会係までお申込み下さい。

また、第5回研究会は記号処理研究会と合同で3月26日、東京にて開催の予定です。テーマは「知識工学と記号処理」です。

◆ ソフトウェア工学研究会

今年度最後の研究会を下記のとおり開催いたします。発表ご希望の方は11月25日までに、発表題目と50字以内の概要を添えて、学会事務局研究会担当までお申込み下さい。

期日 昭和57年2月9日(火)～10日(水)

場所 大阪大学基礎工学部

主題 ソフトウェア工学全般にわたり、特に生産活動における人間的要素または製品のユーザ親和性に注目した報告を歓迎します。

◆ 分散処理システム研究会

第12回研究会は57年2月に東京で開催する予定です。発表希望者は、学会事務局研究会係までお申込み下さい。

◆ 日本文入力方式研究会

第2回研究会を下記のごとく開催いたします。

日時 56年12月16日(水)

会場 機械振興会館 地下3階2号室

又1月(下旬)東京、3月東京での開催を予定しております。発表をご希望の方はタイトルと50字以内の概要を添えて学会事務局研究会担当までお申込み下さい。

「マイクロコンピュータ」シンポジウム開催のお知らせ

——マイクロコンピュータのためのソフトウェア技術——

マイクロプロセッサの高性能化とともに、ソフトウェア技術のあり方が問題となりつつある。ここでは、マイコンのシステム開発のためのソフトウェア技術を中心とした話題を取り上げ、こうした問題点を明確にするとともに将来に向けての指針を探りたい。

日 時 昭和57年2月1日(月)、2日(火)

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

(詳細については次号本欄にてお知らせ致します。)

「アドバンスト・データベース・システム」シンポジウム

開催のお知らせ

—設計・診断・研究開発・意思決定のツールとして—

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願い致します。

日時 昭和56年12月9日(水)、10日(木) 9:00~17:00

場所 機械振興会館大ホール (地下2階)

懇親会 12月9日(水) 17:30~(6階65号室)(参加費3,000円、当日14時まで会場で受付けます)

参加費 会員 10,000円、非会員 15,000円、学生会員 5,000円

申込締切 昭和56年11月30日(月) (申込書は「情報処理」9月号にあります)

~~~~~ プログラム ~~~~~

第1日 12月9日(水) (発表はすべて日本語で行います)

・Opening address (9:00~9:10) 酒井 博敬 (日 立)

・Keynote address (9:10~10:10)

「アドバンスト・データベースへの期待」

大須賀節雄 (東 大)

Session 1. Requirements (10:10~11:50)

座長 有澤 博

・思惟工学よりみたアドバンスト・データベース・システム

神沼 二真 (臨床医学研)

・Design and implementation of a database system based on the multi-layer logic

宇田川佳久 (東 大)

昼食 (11:50~12:50)

Session 2. Database Design (12:50~14:40)

座長 酒井 博敬

・Entity-Association モデルを用いたデータベース設計

有澤 博 (横浜国大)

・Sentential database design method

穂鷹 良介 (筑波大)

休憩 (14:40~14:50)

Session 3. Support System (14:50~17:00)

座長 吉田 郁三

・Design and application of data dictionary/directory system

池田 秀人 (筑波大)

・データベースのバッチ変換システム

米田 茂 (日 立)

The design and implementation of QR, a quick response report writer

Chung Le-Viet (HDR systems)

第2日 12月10日(木)

Session 4. Geographic & Medical Database (9:00~10:40)

座長 穂鷹 良介

・A geographic database system for supporting spatial analysis

霧谷 建之 (日 電)

・歯科矯正学診断サポートシステムの設計

増永 良文 (東北大)

休憩 (10:40~10:50)

Session 5. Engineering Database (10:50~12:30)

座長 大須賀節雄

非量産機械製品用 CAD/CAM データベースの事例

佐々木泰生 (日 立)

・Database for system building

宇野 栄 (日本 IBM)

昼食 (12:30~13:30)

Panel discussion (13:30~17:00)

司会 酒井 博敬

「設計・診断、研究開発、意思決定のツールとしてのデータベース・システム」

パネリスト: 宇野 栄 (日本 IBM), 大須賀節雄 (東大), 上林弥彦 (京大),

藤原 譲 (筑波大), 真名垣昌夫 (日電), 三浦孝夫 (三井造船)

情報処理学会第24回全国大会について

—概要と論文募集要領—

第24回全国大会を下記により開催します。論文発表を希望される会員は、下記要領により、早目にお申込みください。

- 開催期日** 昭和57年3月22日(月)～24日(水)
- 会場** 東京電機大学7号館(東京都千代田区神田錦町)
- 応募資格** 本学会個人会員(正会員, 学生会員)に限ります。共同発表の場合には、登壇発表者は会員でなければなりません。ただし、登壇発表は本大会中1人1回に限ります。また、発表は日本語または英語で行うものとします。なお、56年度会費未納の会員は、登壇発表ができません。
- 申込料** 不要です。ただし、登壇発表される方は、論文集原稿を提出する際に、必ず参加費を納入してください。
- 申込方法** 添付の講演申込用紙(1件1枚)に必要事項を記入し、宛先明記の原稿用紙送付用封筒(大きさA4判…21cm×30cmのもの。切手は不要)を同封のうえ、**56年11月25日(水)**までに(必着)、下記申込先へお送りください。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を12月下旬に送付しますので、昭和57年2月1日(月)までにご提出ください。用語は日本語または英語に限ります。
- その他** 詳細については、決定次第本欄にてお知らせします。
- 申込先** 〒105 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内308-3号室
(社)情報処理学会 第24回全国大会係 電話 03(431)2808

論文該当分野

1. 基礎
 - a. 計算理論, b. アルゴリズム, c. プログラム理論, d. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
 - a. システムアーキテクチャ, b. 演算装置
 - c. 記憶装置, d. 入出力装置, e. 端末装置, f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術, i. マイクロプログラミング, j. その他
3. ソフトウェア
 - a. オペレーティングシステム, b. プログラミング言語, c. 言語処理, d. 性能評価
 - e. 信頼性, f. ソフトウェア工学, g. その他
4. データベース
 - a. データベースマシン, b. データマネジメント, c. 分散データベース, d. 性能評価, e. 情報検索, f. その他
5. コンピュータネットワークおよび分散処理
 - a. システム, b. アーキテクチャ, c. プロトコル, d. 性能評価, e. その他
6. パタン処理および人工知能
 - a. 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能・知識工学, f. ロボット, g. その他
7. 数値計算
8. マイクロコンピュータ
9. 日本語処理
 - a. 文解析合成, b. 字づら処理・辞書, c. 入出力, d. その他
10. オフィスシステム
11. 技術, 産業への応用
 - a. CAD, b. CAM, c. グラフィックス
 - d. シミュレーション, e. その他
12. 経営・社会システムへの応用
13. その他

